

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月2日

事業所名 モモの家

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	個別指導の際は一部屋を区切って使用している。	利用人数によっては、活動内容により狭く感じることもあるため、参加人数やスペースに応じた活動を検討する。
	2 職員の配置数は適切である	4	1		配置基準は満たしているが、法人に対しては増員を要求していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	事業所を含む館内はバリアフリーとなっている。室内の間取りや構造の狭さがあるが、掲示物の刺激を最小限にしたり、分かりやすくする工夫を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	危険のない物の配置に留意したり、朝夕の清掃を徹底するなど、できるだけ動きやすく安全で清潔な環境づくりに努めている。	活動スペースと収納スペースをもう少し区分する。清潔面については今後も細心の注意を払う。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	事業終了後のミーティングで、日々支援内容の見直しを行い、全職員が改善点の提案などについて発言する機会を持てるようにしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		保護者の方からのご意見を踏まえ、今後業務の見直しや改善に繋げる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		今回の結果についてもホームページ及び事業所内で閲覧できる冊子で公開を行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		現在は第三者による外部評価は行っていない。今後の実施を検討する予定。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部の研修情報を職員に通知して参加を推奨し、全職員が何らかの研修を受けられるように努めている。また、研修後は資料や内容の共有を行い、業務に還元できるようにしている。	次年度については年間計画も作成し、各職員2回以上の研修の機会を確保する。
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	定期的にあセスメントやモニタリングを行い、全職員で話し合いながら計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	ポーターズ早期教育プログラムを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	利用する子どもの状態に合わせて、支援に必要な内容を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	支援計画書に沿った支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	起案に対して職員間で検討を行っている。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月2日

事業所名 モモの家

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	起案に対して職員間で検討を行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	発達に応じた支援計画を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	支援開始前、支援終了後いずれも職員間で情報共有や支援内容についてのミーティングを実施している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援開始前、支援終了後いずれも職員間で情報共有や支援内容についてのミーティングを実施している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日々の支援内容について記録をとり職員間で共有することで、支援内容の検討に役立っている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年ごとにモニタリングと支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	主に児童発達支援管理責任者が参画している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	乳幼児健診からの紹介や、保護者からの相談依頼要請など必要に応じた連携がとれている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	「すくすくネットワーク研修会」という市内の保育所・専門機関との連携の中で、保護者の方の理解を得て、支援内容の共有を図っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	就学にあたり、「就学サポートファイル作成会議」等で保護者・学校・幼稚園や保育園と連携し、事業所での支援内容や取り組みについて伝えるとともに情報共有をしている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	今年度より市自立支援協議会児童発達支援事業所と連携がとれるようになった。	今後は他事業所との情報交換を通し、さらに児童や家族への支援のヒントを得る。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		日々の療育時間の中では外部施設との交流は難しく、実施はできていないが、幼稚園や保育園との並行通園をしている子どもが大半であり、必要性についても特に感じていない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	業務を調整し、積極的に参加している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月2日

事業所名 モモの家

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	様々な場面で保護者の方と子どもの様子や課題などを話し、共通理解に努めている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	子どもとの関わり方について具体的に伝えたり、必要に応じて支援を行っている。今年度、複数の職員が研修の機会を得たことで、全職員間で内容を共有し、希望する保護者に資料を配布するなどした。	プログラム化されたものは実施していない。今後も職員の研修の機会を継続的に設け、支援体制の強化に努める。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時に説明し、保護者から同意を得ている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者からの同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	随時面談を行うことができ、相談があった場合は助言や適切な支援を行えるように努めている。	随時面談は行える体制はあるものの、十分に生かし切れていない。定期的ではない分、自ら発信しづらい保護者の方への配慮を行う。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	昨年度より保護者学習会を開催しており、次年度も継続して開催する予定である。	
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情に対する対応の体制は整備している。相談や申し入れについても、職員間で共有し速やかな対応に努めている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月おたよりを発行し、活動内容・行事等について周知している。電話だけでなく、勤務時間外はメールでも連絡を受け付ける体制をとっている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	4	1	ケースファイルは施錠できる書庫に保管している。パソコン端末はパスワード設定で管理している。	昨今の時代を鑑みて、今後もより細かな配慮を検討していく。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	子どもとの意思疎通には、必要に応じて絵カードや文字、身振りなど様々な手段で工夫を行っている。	保護者との意思疎通では必要に応じて書面を通じて行うが、今後さらに必要が生じた場合はその方の理解に合わせた配慮を行っていく。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		現在は事業所内部の行事を行うのみとなっている。今後検討していく。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	4	職員向けにはマニュアルが整備されている。	保護者の方には周知の徹底を行っておらず、閲覧用マニュアルの整備を行う。職員向けのマニュアルについても常に見られる位置への設置を行う。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2	合同で年2回実施している。	定期的(年2回)に複数事業所合同の避難訓練を実施しているが、訓練時間が療育時間と異なるため、希望者のみの参加としている。実施の際は周知を行い、全員参加を目指す。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月2日

事業所名 モモの家

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	通園開始時に保護者の方から健康に関する配慮事項について聞き取り、情報を把握するよう努めている。	支援中にてんかん発作が生じるケースもあり、今後も常に保護者とともに子どもの状態を確認していく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	通園開始時に給食提供に関して食物アレルギーの有無を確認し、必要に応じて法人の管理栄養士に情報提供したり、保護者と栄養士との面談を行ったりするなど、安全に食事できるよう努めている。食事の配膳の際も保護者とともにメニューの最終確認を行っている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	事例集の作成などマニュアル化したものはないが、支援の中で起きた事案は速やかに責任者に報告するとともに記録に残し、全職員に口頭で周知することを習慣化しており、迅速に対応できるよう情報共有に努めている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修の機会は確保できていないが、事業所の支援で虐待につながるような事例はなく、職員間でも子どもへの対応の仕方など話し合っている。	今後、虐待防止マニュアルの整備を準備し、引き続き虐待防止に努める。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	5	支援の中で身体拘束を行う状況は特はない。	今後、やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアル整備を準備する。